



さあやって参りましたぞ「教えて！コモドインク！」略して「おしコモ」vol.8！  
 先日発表されましたが、コモドインク12月の13日、アメリカ村FANJtwiceで3マンイベントを開催します！！その名も！「年末決3報告」！  
 すてきな2組と最高の夜をお届けしますのでこれを読んでいるアナタ！是非遊びに来てくださいネ！いつもより長いステージですよ。。  
 さあそれでは今月もおしコモをお楽しみ下さい！！フライヤーも持って帰ってネ！☆



## 教えすぎちゃって!

今月のお悩み

こんばんは！私は高校2年生です。実は同じ塾に通うO君に一目惚れしました。O君は他校生で一度も話したことがありません。でも、同じ授業を受けているのでお互いに存在は知っているし、目も合います。O君と話したいのですが、どんな話をしたらイイかわかりません。また、一度も話した事のない人から話しかけられるとイヤですか？

このコーナーではおただしに聞きたいことや、お悩みを随時募集しております！  
 info@komodo-inc.comまでしどしど送ってネ！

## おただしの回答



ズバリ、嫌かどうかはアタックしてみないとわかりません。

自分は相手の気持ちを勝手に想像してヤキモキするのが嫌なので、好きだと思ったら、とりあえず戦闘態勢に入ります。

軍配があがるかどうかは神のみぞ知る。  
 瀕死の傷もいつかは癒えます。

恋はサバイバル！うかうかしてたら他の人に持ってかれちゃいますゆえ、ファイティン！

## 甘いの物申す



急に気温が下がり、秋を乗り越えて冬の気配が漂っていますがいかがお過ごしでしょうか。

本日はこれからの季節の甘いものの話を、  
 そう、鍋焼きです。  
 寒くなると途端に食べたくなり、駅前のお店に寄っては買って帰る事はもう何回目でしょうか。

そんな鍋焼きにも、ヤマザキはこだわりがあります。それも二つ。  
 中身はカスタードが良い  
 生地は食感

はい、邪道です。  
 鍋焼きやのにあんこじゃないで考えられないと思えますけどね、こればかりはしょうがない。

ほとんどの場合二択なんです、あんこかカスタードで。でも昔から食べ続けてくるとさすがにあんこはもういいかとなるわけですよ、なので今はカスタードでも完ってるお店なら間違いないそっちに移りしてしまいます。

もう一つの理由としては、友達と一緒に買った時にお得だということ。だいたいあんこを買いますよねみんな、だから別のを買って分け合えばお得だということですよ、簡単！

でもね、あんの話よりも僕がしたいのは生地についての事なので、  
 いろんな鍋焼き屋さんで見かける、一産の粒あんを使用、とかあるでしょ？

あんだけ食べるならおお気になる、となるわけですよ、  
 確かに甘さや食感が違うんですけどね、ただ思うんです。焼いてるし、そもそも包まれてるやん、と。

なぜ生地にこだわらない。

口に入ってくるのはまずは生地の部分、そこが美味しくなければ何も始まらないじゃないか、と。

そこまで食べ歩いているわけではないですけど、生地を大々的に売り出しているお店は数える程しかありませんでした。

僕好みとしては、バリバリではなくふわふわの生地。  
 これさえ味わう事ができるのなら、尻尾のあたりが生地だけになっても問題無し、むしろそこを生地だけで楽しみたいのです。

長々と説明しましたがどうでしょう、共感は得られるのでしょうか。

ヤマザキのふわふわ生地の鍋焼きを見つける旅は、まだまだ続くのです。

それでは、また次回で☆



## リーダー林大輔のエビでタコを釣る

生のトマトにかぶり付くのに抵抗がある人は少ない。けれどパスタやピザ、カレーなどトマトを使った料理が苦手な人はそれほどいないように思う。

カレーづくりが趣味である僕だが、その際トマトの水煮の缶詰を使うことが多い。生のトマトは少し値が張るというのも理由の一つであるが、缶詰を使った方がより旨味が強く出るように思うからだ。

故 赤塚不二夫氏の作品、もーれつア太郎に登場するデコッ八が、キャベツは油炒めがいいという客に対して「生の方がうまいんだい！」と言って取っ組み合いになるシーンがある。頑固で気の強い人物像を表した1コマだが、同じように生がいいと思った読者も多かったはずだ。

食の安全に関してある程度保証されているこの国では、野菜のみならず刺身にしたり、生卵をご飯にかけたり、時には生肉を食すこともある。生はうまい。が、それが全てではない。現実と理想、本物と贗作、ノンフィクションとフィクション、そして生と缶詰。

人には選ぶ力がある。多くのものが産声を上げ、そして人知れず消えていくこの時代。どのタイミングで何をチョイスし、いかに楽しむかだ。

長い人生をどう味付けするかはあなた次第。さあ、僕はカレーをつくらう。



## ベース・ケロ 変な島で育つ

「ウチナータイム」・・・一度は耳にしたことがある人もいるだろうが、沖縄人には沖縄人特有の時間、沖縄時間がながれているといわれる。言ってしまうと時間にとでもルーズなのである。

宮古島ではウチナータイムと同様に「宮古時間」が存在する。  
 島の人も、時間通りに集まることはほとんどない。  
 そもそも「日曜日は10時くらいに集まろ〜さ〜ね〜」と、約束の時点で既に曖昧なのだ。そして案の定10時には誰も集まらない。  
 10時15分を過ぎてようやく「そろそろ向かわんどね〜」と動き出すのである。  
 11時前になり、みんながぼろぼろ集まり出す。これが宮古島では当たり前光景である。本人達は「10時くらい」に集合しているつもりである。

そんな宮古時間の流れる島で育った私が、大阪へ出て来て一番驚いたことは、電車が時間通りに駅に来るということだ。時刻表を見て、丁度良い時間に駅に行けば、長い時間電車を待つ事なく、スムーズに行動できることに感動さえした。

有意義に過ごすには時間を守るに越した事はない。しかし、都会と比べてゆっくりと時間が流れるということが、田舎の良いところでもあるのかもしれない。

今回は実際に体験した宮古島の不思議なバスを紹介したいと思う。お楽しみに！